

京都府 議会だより

発行/京都府議会
編集/京都府議会広報広聴会議
題字/同志社女子高等学校3年生
森田 理沙さん

WebやSNSで
最新情報を
チェック!

No.55

京都府
議会
HP



大学生と議員の座談会

京都府立大学 公共政策学部の大学生と議員がさまざまな意見を交換しました。
当日の詳細内容はP2、3をご覧ください。



12月定例会まとめ

物価高騰の影響を
特に受けている業種や
LPガスの消費者への支援、
人手不足対策など
約267億円の補正予算を可決

物価高騰の影響を受ける業種の中でも、特に和装産業や公共交通機関への支援、府内旅行の割引実施に要する経費のほか、国の総合経済対策を受けた補正予算を可決。

このほか、市町村の子育て環境の充実の取り組みへの支援などを盛り込んだ「子育て環境日本一・京都の実現に向けた取組の推進に関する条例」を可決しました。

詳細はこちらから▶



大学生と議員の座談会

意見交換を行いました

若い方々に、議会を身近に感じてもらうよう、年に1度開催している「大学生と議員の座談会」。今回は、京都府立大学公共政策学部の学生6人を招き、議会の広報広聴を担当する議員6人との意見交換を行いました。

「若者に府政や地域振興、政治に関心をもってもらえるような情報発信とは」、「高校生や大学生の政治参加を促すには」をテーマに話し合い、最後はフリートークで率直な意見を頂きました。



座談会後には、議場見学会も実施しました

情報発信について

●今のSNSでは、自分の興味に偏った情報しか入ってこない。
半強制的に情報を流れるようにするとか、政治の情報しかないSNSを新たに作っても良いのでは

●議員の皆さんは普段どんな仕事をされているのかわからない疑問に思った。議員の1日のスケジュールなどを発信すれば、若者も政治に親近感が湧くのでは

●政治に興味のない人に情報を届けるためには、一目見ただけで印象に残ることが重要。ポスターのデザインを工夫すれば有効な発信になるのでは

政治参加について

●多様な交流ができる場には、お祭りもある。地域の祭りや学校の文化祭で議会や議員の発信があれば、いろんな意見や興味を持つきっかけになるのでは

●地域や郷土への愛着が政治への関心を高めるきっかけにもなると思う。地域愛を積極的に発信することで、政治参加を促してほしい

●議員が大学で講義されたことがあり、興味を持つきっかけになった。出前講座のような機会がもっとあればいい

意見まとめ

●政治とは「善を拡大させていくこと」。議員の存在をもっと身近に感じていただき、官民が一丸となって社会をより良い方向へ動かしていきたい

●…大学生の意見 ●…議員の意見



出前高校生議会

高校生に、府議会や議員との直接の関わり合いを通じて府議会への関心を高めていただき、議会を身近なものとするため、「出前高校生議会」を実施しました。



令和5年 11/22(水)
府立亀岡高等学校



- 主なテーマ
- 地域(亀岡)の観光、まちづくり
 - 教育・子育て
- 生徒の主な感想
- 自分の視点で物事を見ていたが、いろんな視点から見ようと思った
 - 政治について、若者が関わって改善していく余地があると思った

令和5年 12/1(金)
府立京都八幡高等学校



- 主なテーマ
- 府議会議員の仕事について
 - 介護職の給与・待遇について
 - 府の障害者支援について
- 生徒の主な感想
- 自分もできることから政治に参加していきたいと思った
 - 議員の仕事について細かく聞けたのが印象に残った

代表質問
令和5年12月7日、8日に
行われた代表質問の主な内容は
次の通りです(質問順)

質問
山形県では、女性労働者の賃上げや正社員化を支援する制度をスタートしており、本府においても、中小企業の賃上げや正規雇用化に直接支援する制度を検討すべきと考えるがどうか。

答弁
賃上げに向けた支援施策の拡充を国に要望するとともに、中小企業の経営安定に向けた支援や生産性向上の取り組みへの支援を行ってきた。あらゆる施策を総動員し、賃上げや正規雇用化ができる環境整備に取り組んでまいりたい。

質問
京都府では、女性労働者の賃上げや正社員化を支援する制度をスタートしており、本府においても、中小企業の賃上げや正規雇用化に直接支援する制度を検討すべきと考えるがどうか。

答弁
賃上げに向けた支援施策の拡充を国に要望するとともに、中小企業の経営安定に向けた支援や生産性向上の取り組みへの支援を行ってきた。あらゆる施策を総動員し、賃上げや正規雇用化ができる環境整備に取り組んでまいりたい。

質問
伝統や文化が存在し、その流れを汲む生活文化が花開き、優れたものづくりの技術が根付く本府だからこそ、世界に誇る経済モデルを構築できると考えるが、未来を見据えた京都経済のビジョンはどうか。

答弁
先義後利の経営哲学が根付く京都産業は、公益資本主義のモデルとなり得る。産業の多様性を次代に受け継ぐとともに、国際的な連携や交流を通じてイノベーションを創出し続ける産業を生み出していきたい。

質問
大雪時に帰宅困難対策として職場や学校に戻ることも有効手段と考える。

答弁
大雪が予想される際に府民の安心・安全を守るためには、気象情報の提供や出勤抑制の呼びかけなどを適時的確に行うことが重要であり、今後とも市町村、鉄道事業者などと連携し、大雪対策に万全を期したい。

質問
大雪が予想される際に府民の安心・安全を守るためには、気象情報の提供や出勤抑制の呼びかけなどを適時的確に行うことが重要であり、今後とも市町村、鉄道事業者などと連携し、大雪対策に万全を期したい。

答弁
大雪が予想される際に府民の安心・安全を守るためには、気象情報の提供や出勤抑制の呼びかけなどを適時的確に行うことが重要であり、今後とも市町村、鉄道事業者などと連携し、大雪対策に万全を期したい。

質問
子育て環境日本一の実現には、家庭の大切さや子育ての喜び、素晴らしい共有できる風土づくりが必要と考える。知事は、子育て対策を府政の二丁目一番地として進めてきたが、改めて実現に込めた決意は。

答弁
4年ぶりに「子育て環境日本一推進戦略」を改定し、その中4つの重点戦略と20のプロジェクトを策定した。国も動かしながら、「子育て環境日本一」に向けた取り組みを前に進めていく。

質問
子育て環境日本一の実現には、家庭の大切さや子育ての喜び、素晴らしい共有できる風土づくりが必要と考える。知事は、子育て対策を府政の二丁目一番地として進めてきたが、改めて実現に込めた決意は。

答弁
4年ぶりに「子育て環境日本一推進戦略」を改定し、その中4つの重点戦略と20のプロジェクトを策定した。国も動かしながら、「子育て環境日本一」に向けた取り組みを前に進めていく。

質問
府立医大大学院における「北部キャンパス地域医学コース」の新設は、医師偏在の解消に大きく寄与するものと期待している。どのような教育・研究を行い、地域の医療体制確保に寄与していくのか。

答弁
北部地域の特色を題材に実践的な教育研究を行い、地域医療に貢献する医師や研究者を育成。また、北部にいながら、キャリアアップを可能とする環境整備によって、医師確保にも効果があると考える。

府域の均衡ある医療政策について

森口亨 自民 京丹後市

京都府子育て環境日本一推進戦略について

藤山裕紀子 自民 宇治市及び久世郡

大雪対策について

梶原英樹 維新 山科区

京都経済のビジョンについて

秋田公司 自民 南区

生活できる賃金の実現と人手不足解消について

馬場紘平 共産 伏見区

能勢 昌博 自民 長岡京市及び乙訓郡

▼ 発達障害児の支援について

▼ 府立の文化施設における今後の在り方について

灌脇 正明 自民 伏見区

▼ 教員の働き方改革、負担軽減について

▼ 特殊詐欺の現状と対策について

岡本 和徳 府民 右京区

▼ スタートアップ支援と太秦メディアパーク構想の今後について

▼ 医療的ケア児を取り巻く環境の整備について

竹内 紗耶 維国 右京区

▼ WEラボ赤ちゃんプロジェクトの次なる展開について

▼ 介護福祉士の確保について

古林 良崇 自民 京田辺市及び綴喜郡

▼ 介護予防事業の今後の展開について

▼ 農業振興を図る地域計画の策定と実現に向けた支援について

西山 龍夫 維国 八幡市

▼ 京都府におけるジョブ型雇用の推進と人材育成について

▼ 公衆衛生行政について

小巻 久美 自民 下京区

▼ 食の京都について

▼ 就労・奨学金返済一体型支援事業について

池田 輝彦 公明 宇治市及び久世郡

▼ 介護離職防止への取組について

▼ 中小企業への脱炭素化支援について

北岡 千はる 維国 左京区

▼ 生涯にわたる学びと働くことができる環境の推進について

▼ 児童生徒の自己有用感やウェルビーイングの向上について

大澤 彰久 自民 山科区

▼ 府市協調による安祥寺川・四宮川の治水対策について

▼ 不登校児童生徒に対する京都府の取組について

迫 祐仁 共産 上京区

▼ 今夏の猛暑・干ばつ等による農作物被害に対する支援の強化等について

▼ 伝統産業の継続・継承への支援の抜本的強化について

中島 武文 自民 宮津市及び与謝郡

▼ 頻発する災害等への対応強化について

▼ 野生鳥獣被害対策について

2月定例会の日程（予定）

会期 2月14日（水）～3月22日（金）

代表質問

2月19日（月）、20日（火）

KBS京都で生中継 各日午後1時から

一般質問

2月21日（水）、22日（木）、26日（月）

予算特別委員会

2月26日（月）～3月21日（木）

常任委員会

3月5日（火）、15日（金）、18日（月）

特別委員会
3月19日（火）

議会の様子は、インターネット中継でご覧いただけます



傍聴の案内はこちらからご覧いただけます



大本山 建仁寺（京都市東山区）で
出前議会を開催！

最先端技術を活用した「文化の都・京都」の実現に向けた取り組みについて、意見交換を行います。ぜひ傍聴にお越しください。

文化生活・教育常任委員会

2月9日（金）14時～15時30分

詳細はこちら



その他の項目は府議会HPをご覧ください



子育て環境の充実と
少子化対策について



小原 舞 府民 舞鶴市

質問

今定例会で提案された、子育て支援と少子化対策の両条例を統合する「子育て環境日本一・京都の実現に向けた取組の推進に関する条例」の意義と今後の戦略をどのように考えているのか。

答弁

条例では、「子育て環境日本一」の理念を共有し、社会を構成する各主体の責務や役割などを規定している。今後は、京都ならではの取り組みを実施し、全国へと波及させ、国全体の子育て環境の充実などにつなげていく。



今後の総合経済
対策について



大河内 章 公明 右京区

質問

国の総合経済対策に係る重点支援地方交付金を活用し、地域の実情に合わせた支援が必要と考える。補正予算を迅速に編成し、物価高に苦しむ府民や事業者に希望と安心を届けていくべきと考えるがどうか。

答弁

物価高が続いていることを踏まえ、国の施策とも連動しつつ、LPGガス高騰の影響を受ける事業者への支援など、府民生活や事業活動に寄り添った対策について、今定例会中に速やかに追加提案していきたい。